

この嬉しい報告は早速に播磨屋親方に届き「感無量です。8年ぶりでしょうか、久しぶりの関取誕生で一足早いクリスマスプレゼントになりました。これもひとえに応援してくださった皆さまのおかげと思っております。これから本当にありがとうございました。これからももっと沢山の関取を輩出できるように頑張りたいと思います。」とのコメントが寄せられました。また、十両での廻しの色は紫が希望とのこと、廻し職人の勝間田親方が行なうことに決まりました。

千秋楽の一番に敗れた西磯野だが、兄弟子の西勢ノ里も勝ち越し、来場所以降悲願の関取を目指すことになる。「早く関取誕生と行きたいですね！」と春日根親方も更なる猛稽古を誓っていた。

来場所の十両昇進は、龍不動のほか、桂、若松井、鹿嶋、響竜の5人となりそうだ。鹿嶋以外は新十両。霧ヶ浜部屋も待望の3人目の関取となる。

千秋楽には残念ながら国技館に顔を出すことができなかった霧ヶ浜親方だが、新十両昇進確定の報に「若松井の昇進報告頂きありがとうございます。まさかの昇進です、桂に勝るとは思いませんでした。」と喜びのコメントを寄せた。早く愛弟子の若松井を直接祝福したいことだろう。(錦風)

### 三段目、序の口

三段目の優勝はとも4戦全勝の宇治家と鉄ノ里が勝ち143回の堀江(日向藤)以来の優勝となる。一方、鉄ノ里が勝てば上位の結果にもよるが幕下昇進の可能性もみえてきそう。優勝を懸けた一番は四日目までの勢



鉄ノ里〇(寄り切り) ●宇治家



西勢里〇(寄り切り) ●森田



英前田〇(押し倒し) ●豪剣

運も味方して鉄ノ里が宇治家をすんなり寄り切りを下した。勝間田部屋は三段目の優勝は月山以来で、田妻侯が最初に優勝した。上では西二枚

目の英前田が豪剣を破り幕下を手繰り寄せると大疾風も何と、西三勝目をあげて勝ち越しを決めた。

来場所の昇進組は東筆頭の磯堂が一場所で返り咲きの他、4勝1敗の英前田と宇治家、そして半枚差で大疾風をかわして鉄ノ里の4人となる見込みだ。



花形●(押し倒し)〇大疾風



西神門〇(寄り切り) ●暫

序二段は、ただ一人全勝の西神門が暫を寄り切りを下し5戦全勝とし、先々場所の序の口優勝に続いて2度目の育成会優勝を飾った。二段制覇を狙った桐壺部屋の若武田は、西神門に初日敗れた1敗のみで4勝をあげて期待通りのポテンシャルの高さを見せた。来場所の三段目でも優勝争いに確実に加わっていくだろう。

他では、磐若と西の富士が4勝1敗の活躍を見せてこちらも三段目での相撲が注目されそう。

序の口の優勝争いは全勝の響櫻と1敗の桃玄葉との対戦となり奇りが響櫻があつた。大響部屋の育成会での優勝は三段目で響竜が唯一優勝しているだけで、響櫻が2人目となる。響の響竜は来場所新十両昇進を決め、響櫻もいい刺激を受けているに違いない。

だが、錦風親方からしてみれば、本来ならば本家である錦風部屋力士に頑張ってもらいたいところ。入門の時に「錦風部屋にスカウトしておけばよかったなあ」と親方の後悔もあるようだが、得意の「ごり押し」で錦風部屋に移籍をさせようものなら、まさに人格を疑われるだろう。

過去2回廃業となり、今回が3回目の挑戦の場所になった亀風は4勝1敗の好成績をあげて見事に復活。これもひとえに春日根親方による再生工場の賜物であることは疑いのないところ。

奇しくも千秋楽はその亀風に自部屋の西旭が敗れてしまい何とも言えない結果となってしまったがこれは愛嬌か。今場所こそは勝ち越したと、強い思いで臨んだ大水蛇だったが英宮田に押し倒されて勝ち越しはならず。松乃華も同様に千秋楽の一番に勝ち越しをかけたが、小湊に屈し退会が決まりともに厳しい結果に終わった。(勝間田)



桃玄葉●(寄り切り)〇響櫻



西旭●(寄り切り)〇亀風

## 古今東西

### 紙相撲豆知識 ④9 友砂から朝日松に

友砂理事長が今年末で定年を迎え、理事長職を退くこととなった。

友砂理事長は、網代木理事長時代に理事長代行を務め、横浜国技館から131回からの駒込紙相撲道場の本場所開催、135回からの練馬国技館への国技館移設に尽力し、現在の運営体制を確立した。136回からは網代木理事長から理事長職を承継し、4年余りを全う、後継に愛弟子である朝日松親方(元大関綱乃花)を指名、先の理事会で承認されたところである。

朝日松部屋は一門の冠名でもある大名籍。創成期には横綱荒登、荒岩、駒桜を擁し、富士浪部屋の良きライバルであった。その後、月浪部屋が協会の期待を背負って86回から朝日松部屋に移籍し、協会運営に大いに影響を与えた。118回場所後、綱乃花引退とともに朝日松の名籍は綱乃花が引き継ぎ、今に至っている。

#### 〔歴代理事長〕

初代	富士浪 (元横綱五根山)	1	1	2	4
二代	富士浪 (元横綱富士昇)	2	5	5	4
三代	谷の戸 (元横綱照の花)	5	5	5	5
四代	富士浪 (元横綱富士登)	8	6	5	2
五代	八重垣 (元関脇 鵬)	1	0	3	3
六代	網代木 (元大関綱乃花)	1	2	4	3
七代	友砂 (元大関綱乃花)	1	3	6	5
八代	朝日松 (元大関綱乃花)	1	4	8	5

なお、紙相撲協会を支える人としての歴代理事長は次のとおり

初代	富士浪 (徳川氏)	1	1	1	3
二代	住之江 (高橋氏)	1	4	5	2
三代	富士浪 (徳川氏)	2	1	5	1
四代	八重垣 (青木氏)	1	0	3	5
五代	友砂 (吉田氏)	1	3	5	5

